

公共交通機関を利用しよう

私たちの生活を支えてくれている公共交通機関。しかし、近年では自家用車の普及が進んだことや少子化などの影響から公共交通機関を利用する人が減少しています。公共交通機関の運行は、ほとんどが運賃収入で賄われているため、収入が少なくなると赤字になって廃止されることもあります。今回は市内で運行されている公共交通機関について調べてみました。

公共交通機関の種類

公共交通機関には、バス、タクシー、鉄道、飛行機、船舶などがあり、私たちが日常生活をしていく上で重要な役割を担っています。

市内では、バス、タクシー、鉄道がありますが、各事業においても年々利用者が減り続けており、経営努力を続けられながらも一部では採算が合わず赤字運行となっている路線があります。



鉄道



タクシー



バス

鉄道

Railway



▲市内交通の基点となっている JR 福岡駅

市内の公共交通機関の中で利用者が最も多いのは鉄道事業で、JR 福岡駅とJR 東福岡駅を合わせた昨年の1日平均乗降者数は約1万8千人。JR 福岡駅は、バスやタクシーなどが電車で接続する市内交通の基点となっています。

大し、関連事業を含めた事業収益は平成21年度から損失に転じています。これは少子化などによるもののほか、景気低迷や雇用情勢の悪化、高速道路料金の引き下げなどの影響を受けたものと見られています。



▲通勤・通学者が多い朝の改札口



福岡県企画・地域振興部
広域地域振興課地域交通係
古賀 久章さん

路線バスの存続には、ひと月にもう1回の利用をお願いします！

県内の不採算の路線バスは廃止が進んでいる

平成14年2月の改正道路運送法の施行により、新規参入や撤退する際の手続きが、許可制から届出制に変わりました。このことより、不採算バス路線の廃止が進み、平成18年度より平成22年度の路線廃止の申し出は、104路線199区間に上っています。

増加する市町村の財政負担

現在、路線バス維持を目的としてバス事業者に補助を行ったり、コミュニティバス運行のために財政負担を行っている県内の市町村は47市町村となっています。

このうち、バス事業者に補助を行っているのは27市町村で、平成21年度では総額で約4億円に上り、7年前の平成15年度から比べると約6割増加しています。また、コミュニティバス運行に係る財政負担も年々

バス

Bus

路線バスが危ない

路線バスの現状

路線バスは、採算ラインを割り込み、赤字が続いている路線が多数あります。

乗合バス全体では平成21年度に全国で約3万3千キロの路線が休止や廃止されています。

※乗合バスとは、定期路線、不定期路線のバスの総称です

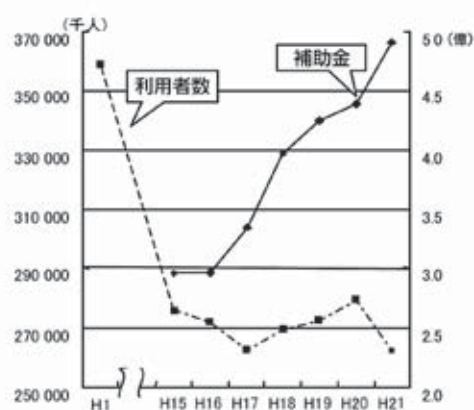
現在、市内の路線バスは、ジェイ・オール九州バス(株)、西鉄バス宗像(株)、西日本鉄道(株)の3社が運行しており、全部で14路線が運行されています。

しかし、そのうちすでに赤字運行となっている部分があり、その分に対しては、行政が赤字補てんを行い運行を存続させています。

赤字補てんには公金が使われている

この赤字補てんには補助金として公金が使われており、国・県からの補助のほか、市からも補助金が支出されています。今後、利用者が減り続ければより多くの補助金が必要となり、市の負担もそれにつれて増えていきます。そして、こういった状況が改善されない場合は、さらなる減便や最終的には赤字路線が廃止されることになっていきます。そして、路線がいったん廃止されると、その復旧にはより多くの経費や努力が必要で長い時間を要し、路線の再開は困難になります。路線の維持のためには、地域や事業所の皆さんに積極的に利用していただき、支えていくことが重要となっています。

県内路線バスの利用者と補助金



ひと月にもう1回の利用を

皆さんが「ひと月にもう1回」を合言葉に路線バスの利用を増やしていただけると、県内のほとんどの路線が存続できると思われます。いつまでも路線バスを利用できるように、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



ジェイアール九州バス株式会社
企画部

里村 博幸さん

「ふくまる」の利用状況は、朝夕のJR福岡駅への通勤・通学のお客さまが中心で、日中は買い物などにご利用いただいております。

また、福岡～直方線の利用状況は、主にJR福岡駅から水光会総合病院への通院やお見舞いなどがほとんどで、見坂峠を過ぎてのご利用はあまりありません。

以前から比べますと、自家用車で郊外の大型店舗を利用されるかたが多くなってきたことや、少子化によって学生の利用者が減少しております。

このような中ではございますが、今後もお客さまに安心してご利用いただけるように運行することやより良いサービスを提供できますよう努力してまいりますので、どうぞご利用くださいますようお願いいたします。

◎通勤通学に「ふくまる定期」、65歳以上のかたに「みのり定期」、学生限定「1日フリー乗車券」など、お得な割引制度があります。



西日本鉄道株式会社
自動車事業本部営業部 営業第二課

加茂 雅嗣さん

津屋崎～鐘崎線の利用状況は、朝夕の通勤・通学の時間帯において、主にJR福岡駅での電車との乗り換え手段として利用していただき、それ以外の時間帯、特に日中については利用者が少ない状況です。

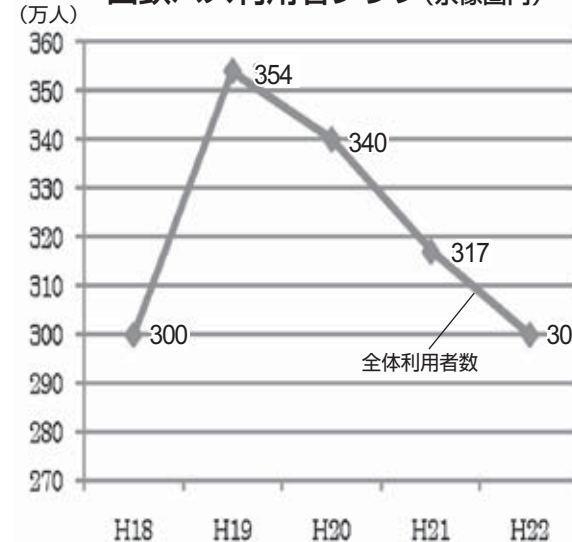
その他、宮地嶽神社で催し物が行われる際には、日中でも若干利用者が多くなります。

高齢化社会が進む中で、公共交通機関の役割は一層重要になってくると考えております。

景気の悪化や自家用車の普及など、厳しい状況はありますが、安全性の強化やサービスの向上に取り組み、お客さまが利用しやすい環境づくりに努めていきたいと考えております。ぜひバスをご利用ください。

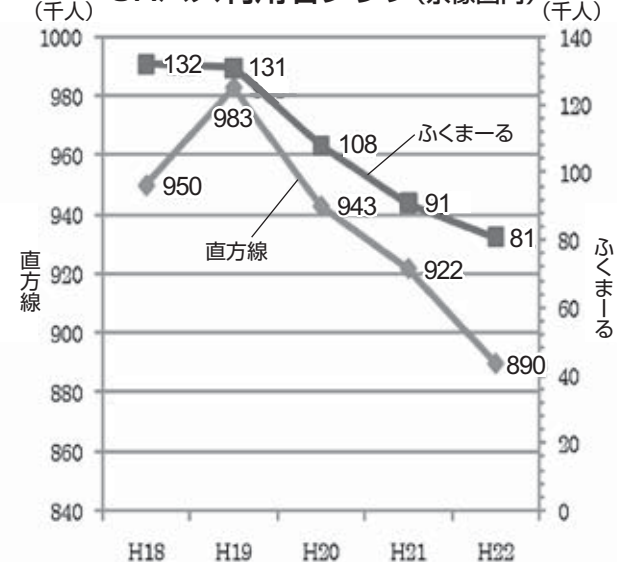
◎ICカード[nimoca]は、JR東日本[Suica]、JR九州[SUGOCA]、福岡市営地下鉄「はやかけん」との相互利用を開始しており、西鉄バスとJR電車への乗り継ぎが可能です。

西鉄バス利用者グラフ(宗像圏内)



※19年度は西鉄宮地嶽線バス代替輸送開始のための増加

JRバス利用者グラフ(宗像圏内)



タクシー

Taxi

タクシー業界の現状

タクシー事業は、バブル崩壊後、利用者は減少の一途をたどっており、営業水準の指標である実車数・日車営数とも低下傾向にあると言われています。

(実車率＝輸送効率の指標で、実車キロ／走行キロの数値。日車営数＝1台のタクシーが1日に運ぶ営業収入)

タクシー利用者の声



内殿区 大隈さん

私は、車いすを使用しているため、福祉タクシーはとても重宝しています。家族に送ってもらえる時もありますが、仕事で送ってもらえない時など、週3回程度利用しています。

運転手さんにはいつも親切にしてくださっており、慣れたかたに来ていただけるので安心して利用しています。

ふくみバス

平成20年4月から市が運行しています。

路線の特徴としては、民間事業者が運行する「主要幹線」とは別に「郊外部および交通空白地帯」をカバーするように運行しています。

このような路線を通っている理由は、高齢者をはじめとする交通弱者を支援することや利用者である市民からの要望に対応することのほか、民間事業者が運行する既存路線との協調を図っていることがあります。

民間事業者が運行する路線と競合することは、既存路線の経営を圧迫し、せっかく民間事業者で維持されている路線の存続に関わってくるからです。

皆さまには、こういった民間事業者による既存路線と市が運営している路線の違いを理解していただき、組み合わせをして利用していただきたいと考えています。



また、年間約5000万円の経費が掛かっており、効率の良い運行が求められています。

昨年の利用者は延べ8万人で前年比26%増となっているのに対し、運賃収入は930万円で前年比5%減となっています。このことから、70歳以上の割引証を利用する人が増加していることがうかがえます。

将来においても

公共交通機関は必要

公共交通機関は、これまで市民の通勤・通学、通院、買い物などの移動手段として私たちの生活を支えてきました。

もし、公共交通機関が使えなくなると、車を運転できない人や学生、高齢者などは日常生活が大変不便になってしまいます。

移動手段のほとんどに自家用車を使用している人は、公共交通機関の必要性について今はそれほど感じていないかもしれませんが、しかし、将来、車を運転しなくなった時や新たに家族が通勤や通学で公共交通機関を利用するようになった時には必要となります。

自家用車に乗っている人でも飲酒をした時やケガをして自分で車を運転することができない時は、公共交通機関の利用が必要となります。

環境・渋滞の対策としても有効

また、急用で移動したい時、目的地まで直接行きたい時などには、呼べば来てくれるタクシーは頼れる存在です。市内では当たり前のように見掛けますが、国内でも、山間部など近くにタクシー事業者がないところや、離島では存在しないところもあるのです。

省エネルギー・環境負荷の低減

バスや電車などの公共交通機関を利用すると、一度に大量の人を輸送できますので、自家用車を利用した場合に比べ利用者一人当たりの二酸化炭素排出量やガソリンなどのエネルギー消費量が少なく済みます。これは地球環境に大変やさしい移動手段となります。

交通の円滑化・安全性の向上

より多くの人が公共交通機関を利用することによって、渋滞が緩和され交通の円滑化となるほか、自家用車の通行台数が減り安全性の向上にも繋がります。特に朝や夕方時間帯には、交差点や駅周辺で通勤車や送迎車で渋滞している状況も見られます。自家用車と公共交通機関を上手に使い分けるなど、できることから始めてみましょう。

問い合わせ 市行政経営企画課(福岡庁舎) ☎433.8115

バス 利用者の声

**勝浦小学校へ通う児童
林さん(左から2番目)**
朝早い時間のバスなので少し大変ですが、だいぶバスでの通学に慣れました。学校での生活はいつも楽しいです。



西鉄バス・鐘崎線
(JR福岡駅～勝浦局前)

西鉄バス・鐘崎線
(JR福岡駅～津屋崎漁港前)



**県立水産高校へ通う生徒
岩隈さん(左)**
福岡市東区から通学で利用しています。ほかに交通手段がないのですから、とても便利です。いつも友達と一緒に利用しているので楽しいです。

JRバスふくま～る
(JR福岡駅～福津市役所前)



福岡市内へ通学
安元さん

JR福岡駅で電車に乗り継いで博多駅まで通学に利用しています。運転手さんはいつも親切です。初めての運転手さんの時でもすごく親しみを持ってた時があったことを覚えています。

JRバス直方線
(JR福岡駅～JR直方駅)



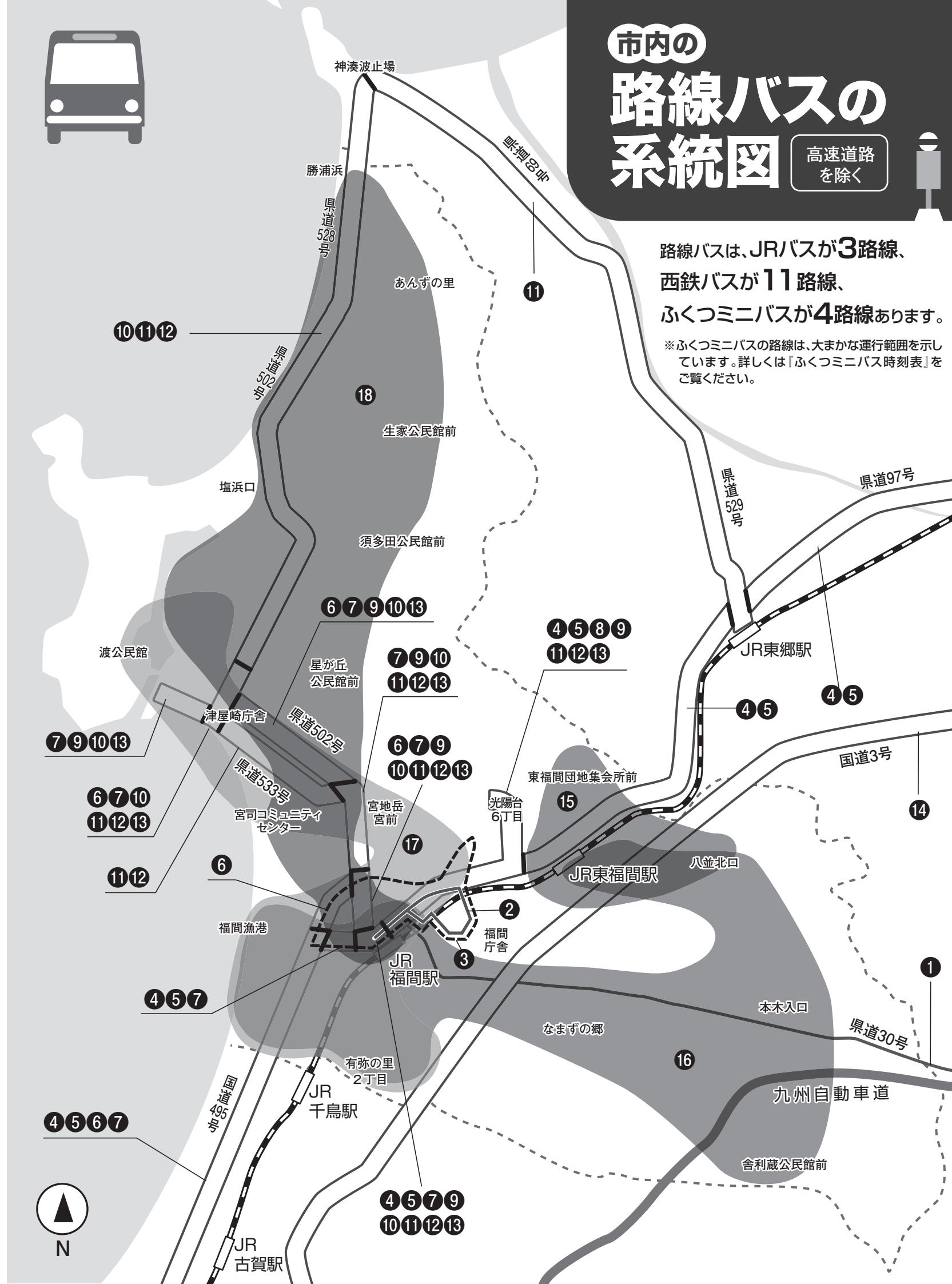
**宗像水光会総合病院へ通勤
松本さん(右)、黒木さん、**
勤務日が合う時は同僚と一緒に乗車しています。勤務日のほかにも勉強会がある時などで利用します。本数がもう少し増えてもらつと助かります。これから存続していただきたいです。

市内の 路線バスの 系統図

高速道路
を除く

路線バスは、JRバスが**3**路線、
西鉄バスが**11**路線、
ふくつミニバスが**4**路線あります。

※ふくつミニバスの路線は、大まかな運行範囲を示しています。詳しくは「ふくつミニバス時刻表」をご覧ください。



路線バスの名称	始(始)点	終(始)点
1 JRバス 【福岡～直方線】	JR福岡駅	JR直方駅
2 JRバス・ふくま～る 【グリーンルート】	JR福岡駅	福津市役所前
3 JRバス・ふくま～る 【ブルールート】	JR福岡駅	福津市役所前
4 西鉄バス・26系統 【赤間(普通)福岡線】	天神	赤間営業所
5 西鉄バス・26-A系統 【赤間(普通)福岡線】 都市高速	天神	赤間営業所
6 西鉄バス・26-A系統 【赤間(普通)福岡線】 都市高速	天神	津屋崎
7 西鉄バス・5系統 【津屋崎～新宮線】 宮司団地	西鉄新宮駅	津屋崎橋
8 西鉄バス 【津屋崎～鐘崎線】	JR福岡駅	光陽台6丁目
9 西鉄バス・1-1系統 【津屋崎～鐘崎線】 宮司団地	津屋崎橋	光陽台6丁目
10 西鉄バス・1-1系統 【津屋崎～鐘崎線】 津屋崎橋・宮司団地	神湊波止場	JR福岡駅
11 西鉄バス・1-2系統 【津屋崎～鐘崎線】 神湊波止場・東町	JR東郷駅	光陽台6丁目
12 西鉄バス・1-2系統 【津屋崎～鐘崎線】 東町	神湊波止場	光陽台6丁目
13 西鉄バス・1-2系統 【津屋崎～鐘崎線】 東町	津屋崎橋	光陽台6丁目
14 西鉄バス・急行 【赤間(急行)福岡線】 都市高速	赤間営業所 ほか	天神
15 ふくつミニバス 【東福岡～若木台線】	JR東福岡駅 (若木台口)	JR東福岡駅 (若木台口)
16 ふくつミニバス 【上西郷線】	JR東福岡駅 (若木台口)	原町1区
17 ふくつミニバス 【津屋崎線】	渡公民館	福岡松原
18 ふくつミニバス 【勝浦線】	津屋崎庁舎	福岡庁舎

お問い合わせ
 ◎市行政経営企画課(福岡庁舎) ☎43・8115
 ◎ジェイアール九州バス株式会社
 福岡中部支店 ☎0949・52・0180
 ◎西鉄バス宗像営業所 ☎0940・35・3554